



津小だより

〒959-4402 阿賀町津川3234 R3.10.4 No.7

阿賀町の美しさを実感した映画 『ある船頭の話』

校長 高松 豊

やっと見る事ができた！

山紫水明の地「阿賀町」を舞台とした映画『ある船頭の話』をアマゾンのプライムビデオで観賞しました。文化福祉会館での特別上映や映画館で上映されていたときに見ることができなかったので、今回のビデオ鑑賞は楽しみでした。

渡し舟に乗った思い出

私の母校は日出谷小学校です。子どもの頃、阿賀野川には橋が架かっていませんでした。平瀬の友だちの家に行くときは、徳瀬から渡し舟に乗せてもらい遊びに行ったのを覚えています。この映画みたいに大きな声で船頭さんと呼ぶことはできませんでした。

阿賀町の美しい風景が印象的！

この映画から、原風景のような美しい阿賀町の自然、風の音、水の音、そして生死にかかわる物を感じました。また、オダギリジョー初監督作品に加えて船頭トイチ（柄本明）の存在感が最高でした。

子狐たちが阿賀町らしかった！

この映画に出演した俳優陣の豪華さにはおどろきました。エキストラで出演した阿賀町の皆さんも多くいました。そんな中で、中野敬一さんの軽快な笛の音で顔を出した子狐たちの名演技には微笑みました。

橋建設のためにホタルが少なくなった？

少女（川島鈴遥）「私は橋よりホタルがいい。ホタルやきれいな川のほうがいい。」

トイチ（柄本明）「俺もホタルのほうがいい。何か新しいものを求めたら古いものは消えていく。それはしょうがないことだ。」

二人の会話から時の移り変わりや文明の発展が人や自然に何をもたらすかを感じました。



ふるさとへの愛着と誇りをもつ子どもの育成

この『ある船頭の話』という映画には、阿賀町の美しい情景が数多く出てきます。自分たちが生まれ育った町のよさを知る学習、それが「阿賀町15年教育」で目指している『阿賀学』です。津川小学校では、阿賀学の中の「自然学」として町の花である雪椿について5年生が学習を進めています。町のよさをしっかりと学び、ふるさとへの愛着と誇りをもつ子どもになってくれることを願っています。

町科学研究発表会での発表をがんばりました！

今年の夏休みも、がんばって科学研究に取り組んだ子どもたちが大勢いました。年間計画では9月に津川小学校を会場として町の発表会を予定していたのですが、感染予防対策として今年は、ビデオでの発表会となりました。津川小学校の代表者を紹介します。



【3年生】金子翔音さん
「氷の実けん」



【3年生】齋藤花音さん
「おふろでシワシワになるのはなぜ？」



【4年生】小川大翔さん
「見えない生き物を見て見よう」



【4年生】清田琉生さん
「りんごの色の変化」



【5年生】齋藤凌央さん
「10円玉をピカピカにする研究」



【5年生】清野麗さん・宮澤愛美さん
「よくのびるスライム作り」



【6年生】遠藤 頼さん
「スライムを液体にする方法」



【6年生】塩野 新さん
「油はなぜ洗剤で落ちるのか」



10月の主な行事

- 1日(金)：全校集会・前期通知表配付
- 2日(土)：郡児童生徒科学作品展①(川屋敷)
- 3日(日)：郡児童生徒科学作品展②(川屋敷)
- 6日(水)：校内マラソン大会
- 7日(木)：校内マラソン大会予備日
- 8日(金)：2年生校外学習(狐の嫁入り屋敷)
- 8日(金)：5年生熊本県袋小学校とオンライン交流授業
- 13日(水)：2年生校外学習(津川郵便局)
- 21日(木)：6年生修学旅行一日目(佐渡島)
- 22日(金)：6年生修学旅行二日目(佐渡島)
- 23日(土)：絵画展①(9:00~12:00 体育館)
- 24日(日)：絵画展②(9:00~12:00 体育館)
- 27日(水)：いじめ見逃しゼロ集会

